

～ 食いだおれ大阪を全国へ発信 ～

「09食博覧会・大阪」の経済波及効果は全国で約203億円

大学院会計研究科 宮本勝浩教授らが推定

このたび、関西大学大学院会計研究科の宮本勝浩教授らが、「09食博覧会・大阪」の経済波及効果について推定しました。

この分析は、4年に1回開催される食の博覧会が今年開催されることに伴い推定するもので、同博覧会が日本全体に及ぼす経済波及効果について推定しました。

計算の結果、「09食博覧会・大阪」が日本全国に及ぼす経済波及効果は203億1,500万円、近畿地域では131億5,000万円、さらに大阪府内では128億7,400万円となり、11日間という短期間にもかかわらず日本経済・産業の活性化に大いに貢献すると教授は分析しています。

分析結果について、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「『09食博覧会・大阪』の経済波及効果」
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
- 3 発表日 2009年4月28日
- 4 内容
 - (1) はじめに
 - (2) 食博覧会事務関係者の経済波及効果
 - (3) 入場者の経済波及効果
 - (4) 食博覧会の総経済波及効果

以上

分析結果からデータなどを引用される場合は、「関西大学大学院会計研究科 宮本勝浩教授分析」と記載していただきますようお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 木田、北谷、木村

〒564-8680 大阪市吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0075 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

【プロフィール】

氏 名 宮本 勝浩（みやもと・かつひろ）

生年月日 1945年1月12日（64歳）

本 籍 和歌山県

現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授

学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士（神戸大学）

職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、2006年4月より現職
この間、アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同济大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任

専門分野 理論経済学、国際経済学（移行経済論） 関西経済論

著 書 『大阪経済学』（共著、経営書）『移行経済の理論』（中央経済社）など

公 職

財務省財政制度等審議会臨時委員

総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員

大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長

大阪府市町村合併推進審議会会長

堺市人事委員会委員長

公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長

財団法人堺都市政策研究所理事長

など

業 績

2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表

2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県における経済効果」などを発表

2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」などを発表

2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディープインパクトの経済効果」などを発表

2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」を発表

2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表

「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表

「白毛馬ユキちゃんの経済波及効果」を発表

「くいだおれ太郎の経済波及効果」を発表

「阪神タイガース優勝に伴う経済波及効果」を発表

「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」を発表

「ゴルフ・石川遼選手の経済波及効果」を発表

2009年 「WBCの経済波及効果」を発表